

ちずちゃん（大学生）の SUP 体験レポート

東かがわ白鳥の SUP ツアーを体験して

平成26年8月8日

「落ちるー！」「ギャー！！」最初はボードの上に立つことができず何度も瀬戸内海へ投げ出されました。久しぶりに感じた海の塩辛さと海水の温度も、すごく心地よかったです。

SUP とはスタンドアップパドルボードといって、大きなサーフボードの上に立ったり座ったりして、パドルで漕いで海を進み、楽しむスポーツです。慣れるまでには苦勞しましたが、ボードの上に立って乗りこなせたときには何とも言えない気持ちよさがありました。まるで海の上を歩くような感覚。私の近くには海から飛び跳ねている魚や魚群がいて、少し視線を伸ばすと、海に映る風の模様を見ることができ、今までにない近い距離で海を感じることができました！また、ボードに立ち、水平線をぼーっと見ていると「自分はちっぽけだな」と感傷に浸ったり、色々考えたり思い出したりもして、そんな楽しみ方も SUP にはあるのだなと思ったりもしました。

そして、大きな見せ場でもある「ランプロファイア」というジオサイトを見ました。「ランプロファイア」を見た私の第一声は「すごい！！」の一言でした。その一言を何回も言った覚えがあります。「ランプロファイア」は国の天然記念物に指定されており、瀬戸内海の火山活動の活発さが表れ、迫力を感じることができました。私はさらに迫力を味わいたいと思い、ボードから降り、泳いで近づきました。ボードの上とはまた違う目線で見上げてみると、自然の大きさ、人間の小ささを思い知らされたような感覚を味わいました。非常に神秘的で感動しました。

「帰りたくない！」ツアーが終わったときそんな気持ちがありました。ゆっくりと漕いで岸にたどり着きました。今回のツアーを振り返ると、たくさんの「感動」に出逢いました。海に投げ出される感覚、SUP を乗りこなす気持ちよさ、海を歩くような感覚、「ランプロファイア」の迫力などなど。私は「また体験したい」と心から思いました。SUP ももっと乗りこなして、さらなる「感動」を追い求めたいです！

